

1 ワクチン供給等について

(1) 医療従事者（対象者：約5万人）

供給時期	供給量
5月10日の週まで	93箱（51,285人分）が配送完了

→ 6月には接種完了する見込み

(2) 高齢者（対象者：約35万人※）

※対象者人口

供給時期	供給量
5月30日の週まで	362箱（203,677人分）が配送
6月中	269箱（157,365人分）の配送見込み
計	631箱（361,042人分）配送完了見込み

→ 7月末での接種完了を目指す

新型コロナウイルスワクチン接種について②

2 接種状況（令和3年5月27日現在）

医療従事者（約5万人）	1回目	2回目	総接種回数
接種回数	41,415回	29,513回	70,928回
接種予定者数に対する進捗率	82.8%	59.0%	—

高齢者（約35万人）	1回目	2回目	総接種回数
接種回数	49,101回	4,791回	53,892回
接種予定者数に対する進捗率	14.2%	1.4%	—

高齢者施設の従事者	1回目	2回目	総接種回数
接種回数	3,842回	870回	4,712回

※各医療機関がワクチン接種円滑化システム(V-SYS)を通して報告したものを集計

高齢者向けワクチン接種の7月末完了にむけた市町村支援の取組

【趣旨】

- 市町村のワクチン接種実施計画（R3.4.30時点）では、約5万人の高齢者が8月以降の接種になると試算される。
- 7月末までに完了するために、**6~7月を高齢者向けワクチン集中接種期間と設定**し、この期間に限り、休日の個別接種の促進、集団接種における医療従事者の確保など、市町村のワクチン接種が加速するよう県が強力に支援する。

接種を加速（7月末までに10万回の上積みが必要）

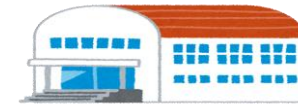
個別接種



- ・ 休日を利用した接種
- 接種回数 ↑

集団接種

- ・ 接種会場の増
 - ・ 接種会場での接種回数の増
- 接種回数 ↑



↑ 接種促進を支援

↑ 接種促進を支援

個別接種の促進

- 休日の個別接種における医療機関へ協力金を支給（1日15万円、半日7.5万円）



医療従事者の確保

- 県が医療従事者を公募等により確保し、リストを作成（医師、歯科医師、薬剤師、看護師）。市町村はリストを活用し集団接種を実施
- 県は市町村に対し必要となる経費を支援

医療従事者の時間外・休日の派遣支援

- 時間外、休日に集団接種に医療従事者を派遣する派遣元医療機関に対し、派遣に必要な経費を支援

広域集団接種の実施

- 県による広域的な集団接種を実施

ワクチン接種研修の実施

- 県が公募等により確保した歯科医師、看護師等に対し、実技を含めた研修を実施

副反応相談対応の24時間化

今後の進め方

<方針>

- 当初の市町村接種計画では、約5万人の高齢者が8月以降の接種になると試算された。
- このため、接種を前倒して7月末までに完了するために、6～7月を高齢者向けワクチン集中接種期間と設定し、この期間内に設けた県支援策及び国支援策を活用し、以下の方針で、各市町村の接種計画の見直しを行うこととしている。

1. 個別接種（近くの医療機関等で接種）の増加を図る



- 各医療機関で接種できる機会が増える。

2. 市町村実施の集団接種の増加を図る



- 個別接種のみでは早期完了が難しい市町村については、市町村が実施する集団接種の増加を図る。

3. 7月完了が難しい地域において、6月下旬から県による広域的な集団接種

- 1・2の措置を講じても7月末までに高齢者へのワクチン接種完了が困難と判断される場合は、当該地域における県による広域的集団接種を実施。
今回、西諸地域で広域的集団接種について必要な調整が整ったため、まずは西諸地域で実施。今後、市町村における接種の進捗状況等を踏まえながら、更に1～2地域で広域的集団接種の実施を検討することで、県内すべての地域で7月末完了が実現できるようにする。

ワクチン接種に係る市町村支援事業の実施状況について

○ 医療従事者の確保

- ・ 5/27～ 医療従事者の公募開始
SNS、県医師会への依頼、新聞広告
- ・ 県がリスト作成後、市町村と共有し、集団接種における医療従事者の確保に活用予定

○ 県による広域集団接種の実施

◆ 対象地域

小林市、えびの市、高原町

◆ 実施日

<第1回接種> 6月26日(土)・27日(日)

<第2回接種> 7月17日(土)・18日(日)

◆ 場 所

小林市市民体育館

◆ 接種対象者

上記市町の住民基本台帳に記載されている高齢者（令和3年度中に65歳以上に達する方）のうち1,470名